

第1・2Q成績発表

9月11日(金)

成績の確認方法:うりぼーネットの「単位修得状況照会」

異議申し立て申請は、発表後1週間以内に、授業の開講学部(全学共通科目はK棟学務部学務課共通教育グループ)に対して行う。

・国際人間科学部の科目の成績についての申立方法は、以下のウェブサイトに記載している。

2020年度前期成績申立について(PDFファイル、120KB)[2020年7月1日掲載]

<http://www.fgh.kobe-u.ac.jp/ja/node/63#e7>

・全学共通科目の成績の申立方法は、共通教育グループにメールか電話で問い合わせること。

メールアドレス:stdnt-gkmkyotu@office.kobe-u.ac.jp

※通常は各窓口で受付

後期(3Q・4Q)授業の抽選登録

■基礎教養科目・総合教養科目等

抽選登録期間: **9月11日(金)9時～16日(水)17時** 予定

変更される場合もあるので、随時**国際教養教育院のウェブサイト**で確認すること

<http://www.iphe.kobe-u.ac.jp/zengaku.htm>

忘れないで!

■国際人間科学部抽選登録科目

抽選登録期間: **1次:9月18日(金)17時～23日(水)12時** 予定

2次:9月25(金)10時～17時 予定

3次:9月29日(火)10時～17時 予定

・**基礎演習A, B(金2限)** (抽選3回)

1年後期は各1つ履修(2年からは複数履修可)

・**TOEFL演習A, B(月4限、木2・4限、金3・4限)** (抽選1回) **ABセットで履修**

※時期が近づいたら、**国際人間科学部ウェブサイト**の「**教務情報**」でお知らせします。

シラバスで内容を確認した上で、きちんと履修計画を立てて申し込むこと!

後期授業の形態について

現時点では、**未定**です。

- ・神戸大学の新型コロナウイルス対応の**活動制限指針のレベル**情報は、神戸大学ホームページ上で随時更新されます。
- ・特に重要な通知は大学メールアドレスでも配信されます。

重要！ 夏季休暇中も、大学、学部ウェブサイトを定期的に確認し、学部からのメールのチェックを怠らないようにしてください。

プログラム選択について

3つのプログラムと定員

グローバル文化形成	75名
-----------	-----

グローバル社会動態	50名
-----------	-----

グローバル・コミュニケーション	45名
-----------------	-----

※希望者が定員を超過した場合は前期成績(GPA)による選考を行う

プログラムとクラスタ概念図

グローバル文化形成プログラム

日本学クラスタ

日本社会文化論 A・B (辛島) ※
日本思想文化論 A・B (昆野)
日本文化交際論 A・B (寺内)
日本メディア文化論 A・B (板倉)
日本歴史文化論 A・B (長)
ロシア・東アジア社会文化論 A・B (シュラトフ)

芸術文化論クラスタ

文化政策論 A・B (藤野) ※
近現代アート論 A・B (池上)
近現代文化言説論 A・B (石田)
近現代モード論 A・B (岡本)
視覚文化論 A・B (松井)
表象文化形成論 A・B (若本)

ヨーロッパ・アメリカ文化論クラスタ

環大西洋文化論 A・B (小澤) ※
アメリカ社会論 A・B (井上)
アメリカ文化論 A・B (西谷)
近現代表象文化論 A・B (松家)
宗教文化論 1・2 (野谷)
東欧・ロシア社会文化論 A・B (青島)
ヨーロッパ社会文化論 A・B (坂本)
英米テクスト文化論 A・B (西谷, 松家, 野谷)

越境文化論クラスタ

科学技術文明論 1・2 (塚原)
比較文化論 1・2 (遠田)
文化翻訳論 1・2 (北村)
越境社会学 A・B (近藤)

アジア・太平洋文化論クラスタ

中国社会文化論 A・B (王) ※
オセアニア社会文化論 A・B (窪田)
北アジア歴史社会論 A・B (萩原)
東南アジア社会文化論 A・B (伊藤)
東南アジア政治文化論 A・B (貞好)
東アジア政治社会論 A・B (谷川)

グローバル社会動態プログラム

モダニティ論クラスタ

近現代社会思想論 A・B (鹿野) ※
近現代経済思想論 1・2 (市田)
近現代政治思想論 A・B (上野)

異文化関係論クラスタ

文化人類学 1・2 (未定) ※
現代社会人類学 1・2 (梅屋)
比較民族学 1・2 (岡田)
文化混交論 1・2 (齋藤)

先端社会論クラスタ

現代社会理論 A・B (西澤) ※
グローバル正義論 A・B (櫻井)
ジェンダー社会文化論 A・B (青山)
メディア社会文化論 A・B (小笠原)

多文化共生論クラスタ

国際関係論 A・B (坂井) ※
多文化政治社会論 A・B (新川)
比較政策論 A・B (安岡)
比較政治社会論 A・B (阪野)
平和構築論 A・B (中村)

グローバルコミュニケーションプログラム

感性コミュニケーション論クラスタ

非言語コミュニケーション論 1・2 (正田) ※
音声コミュニケーション論 1・2 (林)
コミュニケーション構造論 1・2 (南本)
コミュニケーション比較論 A・B (巽)
認知コミュニケーション論 1・2 (松本)

言語コミュニケーション論クラスタ

第二言語習得論 1・2 (田中) ※
コミュニケーション表現論 1・2 (小松原)
翻訳コミュニケーション論 1・2 (藤澤)
演習担当 (アルビン)

情報コミュニケーション論クラスタ

現代 IT 入門 A・B (森下) ※
IT コミュニケーションデザイン A・B (西田)
社会システム科学 A・B (村尾)
データマネジメント 1・2 (清光)
統計情報処理 1・2 (原)
情報科学概論 A・B (大月)

プログラム選択の方法と時期

うりぼーポータル上のアンケートに回答

回答期間: 1月5日(火)～19日(火)予定

プログラムを選択したら

- ・2年次配当「基礎演習C/D」、「発展演習A/B」、3年次配当「発展演習C/D」の必修計6単位のうち、**少なくとも4単位**を選択したプログラムから履修する。
(抽選登録の1回目は、自プログラムのみ対象)
- ・**卒業研究の指導教員**は、選択したプログラム内の教員に限る。(指導教員は3年次の7月に希望調査、9月に決定)
- ・卒業研究の指導は、指導教員の属する**クラスタ単位**でも行う。

演習の年次進行

	1Q	2Q	3Q	4Q
4年	グローバル文化 特別演習C	グローバル文化 特別演習D	クラスタ・オリエンテーション	卒論テーマ 発表会など
3年	発展演習C	発展演習D	グローバル文化 特別演習A	グローバル文化 特別演習B
2年	基礎演習C	基礎演習D	発展演習A	発展演習B
1年	初年次セミナー	グローバルイシュー 演習	基礎演習A	基礎演習B

卒論中間発表会

卒業研究

卒論口頭試問

指導教員選択

プログラム説明会

プログラム選択

プログラム変更について

3年次の6月の指定された期間のみプログラム変更願を提出できる。

ただし、希望先のプログラムの演習を4単位以上履修(履修中も可)していることが条件。

プログラム定員に空きがない場合は、認められない。

履修要件についての注意

学生便覧p.152:別表第2 履修要件 イ グローバル文化学科

高度教養科目4単位は修得不要だが、その分を学科専門科目のコア科目または展開科目で修得が必要

つまり学科専門科目の必要単位数は、 $56 + 4 = 60$ 単位

(別紙履修要件資料参照)

